

## ウェブブラウザによる Java の利用に注意

昨年の夏以降、ユーティリティ、ゲーム、ビジネスアプリケーションなどを開発するプログラミング言語のひとつである Java のセキュリティ上の欠陥を悪用することで、パソコンを遠隔操作する犯罪が増加傾向にあります。現状では対策が難しいこともあり、Java の機能を無効化することを推奨します。

### 手口

サイバー犯罪者は、セキュリティ上の欠陥があるホームページなどに侵入し、Java のセキュリティ上の欠陥を悪用するためのファイルを設置します。パソコン利用者が、このホームページを閲覧してしまいますとセキュリティ上の欠陥を悪用するプログラムによりパソコンが乗っ取られ、遠隔操作されてしまいます。

### 被害

ウイルスに感染し、パソコンが遠隔操作されてしまいます。

### 問題点

Java の開発会社からセキュリティ上の欠陥に対応した修正プログラムの配布が遅れており、対策が難しい状況が続いています。

### 対策

利用者は以下の対策をとることが望まれます。Java が利用されているかの確認は次の URL の情報を参照してください。

#### Java がインストールされているかの確認

<http://java.com/ja/download/testjava.jsp>

#### 【Java を利用する必要が無い場合】

- ・ Java をアンインストール、もしくは無効化する

#### 参考情報：

- ( 1 ) Web ブラウザで Java を無効にするにはどうすればよいですか。

[https://www.java.com/ja/download/help/disable\\_browser.xml](https://www.java.com/ja/download/help/disable_browser.xml)

- ( 2 ) Internet Explorer で Java Web プラグインを無効にする方法

<http://support.microsoft.com/kb/2751647/ja>

( 3 ) Java アプレットを無効にするには ( Firefox )

<https://support.mozilla.org/ja/kb/How%20to%20turn%20off%20Java%20applets>

( 4 ) 特定のプラグインを無効にする ( chrome )

<https://support.google.com/chrome/bin/answer.py?hl=ja&answer=142064>

### 注意

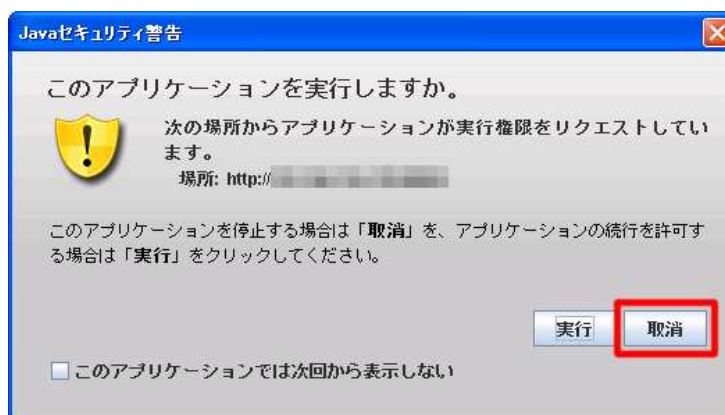
対策の必要なパソコンは、インターネットを利用している全てのパソコンです。

Windows、MacOS、Linux などの種類は関係ありません。

### 【Java を利用する必要がある場合】

Java を利用する必要がある利用者は、以下の点に注意して利用してください。

- ・身に覚えのないメールは開かない
- ・「.jar」の拡張子の付いた添付ファイルは開かない
- ・迷惑メールなどに記載された URL はクリックしない
- ・Java セキュリティ警告のメッセージが表示された場合は取消を選択する
- ・ウイルス対策ソフトウェアの定義ファイルを最新版にする
- ・最新の Java をインストールする



Java セキュリティ 警告画面

参照 URL:

<http://www.oracle.com/technetwork/topics/security/whatsnew/index.html>

以上